

論文の構成

これは一般的な原則。原則は規則ではない。特別な理由があれば従わなくて良い。特別な理由がなければ従うべき。

1. 序章

1. 研究目的
2. 論文の構成
3. 研究の動機

2. 先行研究

1. 主な先行研究の文献レビュー

- ・「ストーリー」が読めるように。
- ・羅列にならないように。(目的・方法・結果・考察を簡潔にまとめる)
- ・その研究でわかった「事実」が重要。(その「事実」が自分の研究の「足場」となる)
- ・自分の視点から先行研究を位置付けていく。知見、その意義、問題点。

2. 先行研究のまとめ

- ・何がどこまでわかっているのか。わかっていることは何か。

3. 研究課題

- ・何を明らかにしようとするのか。

3. 研究方法

1. 実験方法

1. 被験者
2. 実験手順(追実験が可能なように具体的に説明する。)

2. 分析方法

- ・どのような統計的手法で分析するのかを説明する。

4. 結果

- ・実験の統計的な分析結果を簡潔にまとめて記述する。

5. 考察

- ・まず、実験の結果を統計用語を使わずに自分の言葉でまとめる。
- ・仮説と合っていたかどうか。
 - ・合っていた場合：これで何が言えるようになるのか。
 - ・違っていた場合：その原因を考察する。

6. 結論

1. 何を明らかにしようとしたのか。
2. 何をどのようにしたのか。
3. 何がわかったのか。
 - ・新しいことを述べるのではなく、本論で書いたことを簡潔にまとめて、しめくくる。